

納入事例のご紹介

空調配管編

空調配管の特徴

流体制御が必要な配管の為、バルブやフレキなど様々な商材が使われています。

チラーユニット(冷却水循環装置)の交換に伴う、冷温水配管の更新工事事例

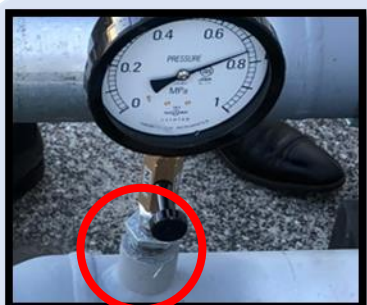


チラーユニット
(冷却水循環装置)



POINT① ラップジョイント

空調配管は、フランジ接続が主流になります。施工性の高いルーズフランジが採用され、ラップジョイントを使用し、加工管を製作しております。部材データもCADソフトに登録されており、正確な寸法で製作することが可能となっております。



(↑)配管にボスを溶接



(↑)キャップにボスを溶接

POINT② タッピング加工

空調配管は、流体制御が重要な配管ですので、エア抜きや水抜き用のバルブ、温度計や圧力計が多く使用されます。この際に、タッピングが必要となりますが、工場加工で正確な位置に穿孔し、ボス溶接を行う事で、精度の高い加工管を製作しております。

バルブ・フレキ・計器類・BNPなども当社で同時納入が可能です。

販売窓口

栗井機鋼株式会社 東京支店

Tel : 03-3452-2266

Fax : 03-3451-0133

お打合せ窓口

栗井機鋼株式会社 東京CADセンター

Tel : 03-4582-6077

E-mail : bimap@awai.co.jp